

ミュージアム コンサート

# Museum Concert

2023年9月9日(土)14時~15時

テーマ『ザネット』 運命の愛によって救われた無垢な少年と、  
「愛の心」を求める女の、一夜の物語。  
= program =

オペラ『ザネット』 ピエトロ・マスカーニ作曲

ザネット : 高木真理……さすらいの少年  
シルヴィア : 加島裕美……美しい高級娼婦  
ピアノ : 大城要

## ~あらすじ~

フィレンツェ郊外の田舎町 夏の夜の夕涼み

リュートを弾き自由に旅を続ける少年ザネットは、シルヴィアという美しく豊かで、誉れ高い女性に会うことを夢見て、フィレンツェを目指しやって来ました。

シルヴィアは高級娼婦であり、愛の無い生活・・・地位のある男性達から受けるお金と心のない贅辞に、心が乾き涙も流せなくなっていました。「どこかで少年が、私に会うことを夢見てこの空を見つめているかも・・・」と一人静かに空想に耽っていたシルヴィアは、ベンチで眠るザネットを見て、空想の少年にそっくりなのに驚き、胸がときめくのを感じたのです。一方ザネットも、自分の夢とそっくりな彼女を見て驚きます。彼女の優しさに触れ「今まで自由に旅をして生きてきたけど、貴女に会って初めて、僕は寂しいなと感じた。僕をここに置いてくれませんか」と懇願するザネットですが・・・

シルヴィアは無垢な心を持つこの少年を、汚れた自分の世界に巻き込むわけには行かないと、自分の気持ちを抑え、「私は貧しい未亡人だから」と言って彼を拒むのです。彼女がシルヴィアであることを知らないザネットは、「それなら、フィレンツェに住むシルヴィアという人を訪ねていこうと思うがどうだろうか」と意見を求めるので、シルヴィアは葛藤しながらも「貴方の美しい魂にとって、彼女から与えられる寝床やパンが、どんなものであるかを知る必要があるわ」といってあきらめさせます。ザネットは再び旅を続け、シルヴィアは「私はまた愛に涙を流せるようになった」といって泣くのでした。

 = 演奏者紹介 =



ザネット 高木真理 (たかぎ まり)

くらしき作陽大学音楽学部音楽学科声楽専修卒業。声楽を浦野りせ子、佐々木典子、遠藤昌秀の各氏に師事。「ボエーム」ムゼッタ役、「愛の妙薬」ジャンネッタ役、「魔笛」パパゲーナ役他、「フィガロの結婚」ケルビーノ役、「ねじの回転」マイルズ役等の少年役も得意とする。JMS アステールブラザ主催事業「夏のオペラ体験教室／ヘンゼルとグレーテル」にグレーテル役講師として毎年参加。中国二期会準会員。



シルヴィア 加島裕美 (かしま ひろみ)

エリザベト音楽大学専攻科修了。イタリア・ルーマニア・ドイツに留学。ルーマニア国立ヤシ歌劇場「ノリアッチ」(ネッダ役)に抜擢され、その後も同歌劇場でプリマを務める。名門モルドヴァ・フィルとはモーツァルト「モテット」を共演、ブカレストのアテネ音楽堂等の主催でリサイタルを行う。オペラを活動の中心にする他、宗教曲や「第九」のソロ、マーラー及びワーグナーの歌曲等、オーケストラとの共演も多い。2012年フットサル イタリアセリエA選抜チーム vs 日本の国際親善試合 開会式にて「イタリア国歌」を独唱。中国二期会会員、広島オペラアンサンブル理事。



ピアノ 大城要 (おおしろ かなめ)

エリザベト音楽大学卒業。卒業演奏会、中・四国新人演奏会に出演。同大学大学院修士課程に進学後、ドイツ・ミュンヘンへ渡り、その後ワイマール・フランツリスト音楽大学大学院音楽研究科に入学、同研究科を修了。エリザベト音楽大学大学院修士課程修了。ヨーロッパでの演奏活動や、ニース夏期国際音楽アカデミー 歌曲伴奏クラスなどで研鑽を積み、2003年に帰国後はソロや室内楽作品などを中心に演奏を続けている。2006年マイタウン広響 in 安芸区において広島交響楽団と共演。2013年2台ピアノによるコンサート、2016年ソロリサイタルを企画・開催。ピアノを原田典枝、土屋照子、廣澤久美子、クラウス・シルデに師事。広島文教大学非常勤講師。

 = 演奏者コメント = 

マスカーニの音楽が描き出す、フィレンツェの静かな夜の情景と二人の恋を、美術館のホールの美しい造形に助けられながら創り出せたら…と思っています。